創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（五日廿日）發行●電話番町千七百四十五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座壹壹弐八二番

# 愛國婦人

June 20th. 1909.

明治四十二年六月廿日發行

●定價一部金三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園內愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯者永持德一

## 主張　獨りを愼め

朝鮮の官妓は、美服盛裝して人前に出づるが故に、その住宅もさぞやと思ひの外、實に見すぼらしく、ひどきものなりといふ、まあと呆れる己れは、如何にと考へ見よ、官妓にも劣らさる內外表裏の差別はなきか。

一體人は見え坊にて、外に出づる時は所謂他所行きの着物を着、他所行きの言葉を使ひて、殊勝千萬なれども、內に歸れば、隨分いかゞはしく、淺ましき振舞なきにあらず。も少し先きまで、蟲も殺さぬ菩薩顏せる者が、夜叉と早變りして姑をやりこめ、子供をなぐり、下女を叱り飛ばすもあり。蛇喰ふと聞けば恐ろし雉子の聲。あの蚊の鳴くやうな聲にて、物を仰せらるゝ夫人が、宅では弄花の蓆を開いて、その姉御となるゝとか。人が知らぬと思ふのか。隱れたるより顯はるゝはなし。爭へぬものにて、人相賤しく、成程と、うなづかるゝ節多し。心の化粧をなさざれば、姿の化粧は駄目のものと知るべし。

もし人が見えのためにのみ生活するものならば、人生の如くはかなく、無意味のものはなかるべし。見えは見えなり、實物にあらず。夢の如く、まぼろしの如く、又虹の如く、消えてなくなるものなり。正味にあらず、泡なり。水に浮べる石油の色彩なり。吹けば散り、掻けば亂るゝものなり。見えを命とする者は憐れなるかな。

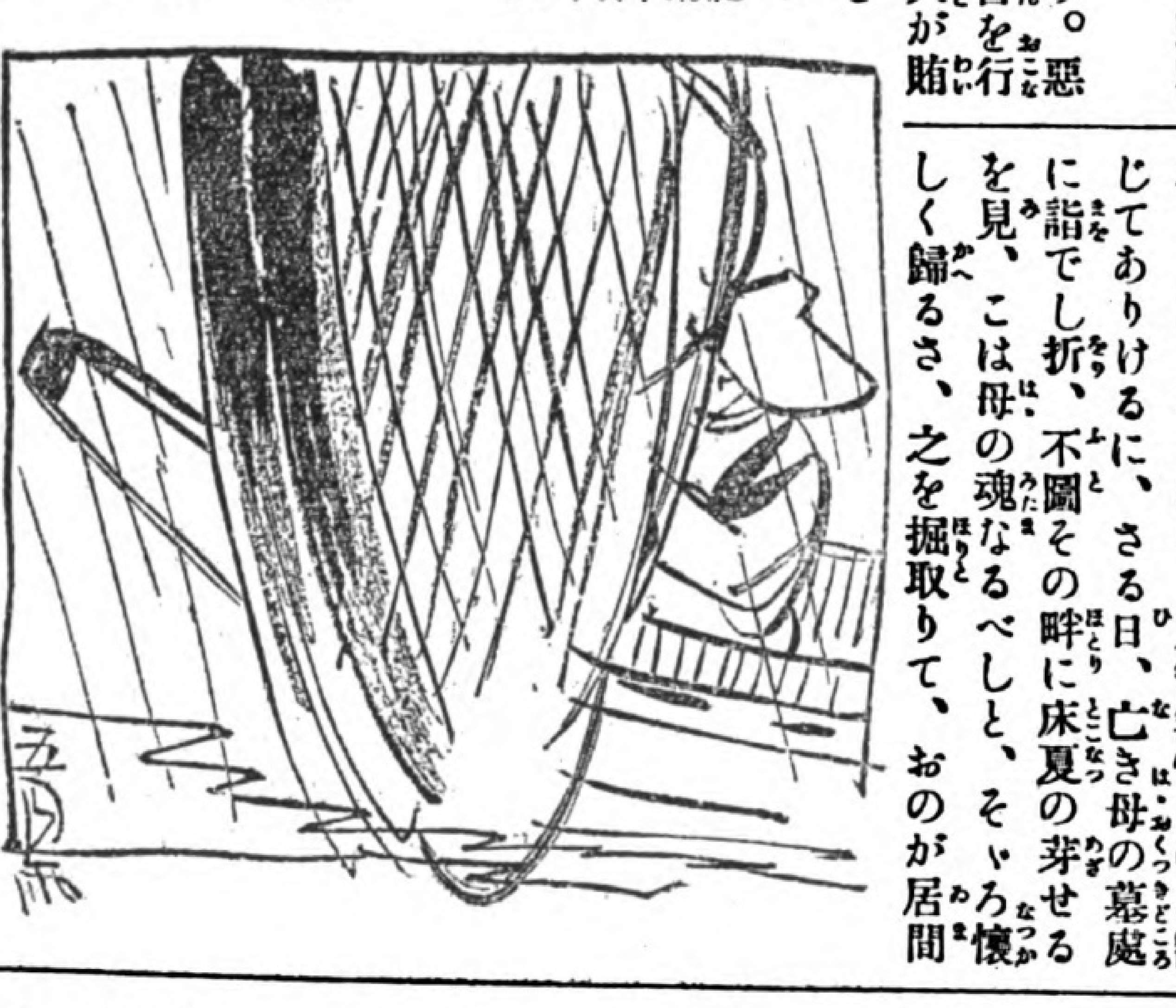
大學に曰く「君子は必ず其の獨りを愼む」と。獨りの時は、己れの心中を赤裸にして見る時にして、僞り隱すこと能はず。日頃人前にての言行に對して、良心のお仕置を受け、人の居らぬに、冷汗が出たり、赤面したり、又は本當に嬉しく思ふ時なり。されば人の見聞かぬ所が、實は晴れの場所にて、獨りの時の全盛こそは一の全盛なれ。されど心の磨き足らざれば、良心鈍りて、獨りの時も、內に省ることなく、却て良からぬ事を考ふるものなり。小人閑居して不善をなすは、今も昔に變ることなし。心の畠にも、穀物が出來るか、雜草が生へるかの外なし。獨居は、その孰れかに極まる時なり。ベーコン曰く「獨りを樂む者は、野獸にあらずんば、神なり」と。世間何ぞ獨居に野獸たるものゝ多きや。

獨りの時は、善も惡も仕次第なり。惡を行ふも、人の咎むるものなく、善を行ふも、また見て呉るゝものなし。人が賄を持ち來りて、暮夜知る者なしと勸められて、取る氣になるも、この時なり。楊震の修養ありて、たゞ能くこれを拒むことを得べし。「心の番人は、傭人出來不申候」と橋本左內は申したり。獨りの時ほど、危きはなし。心弛めば、魔道に陷ること、目前なり。一室は天下の廣居なり、晴れの場所なり。人の前にて、如何に好く見られんかと心配するまへ、獨り在る時、如何に好く、心に思はれんかに努めよ。「なき名ぞと人はいひてもありぬべし。心の問はばいかに答へむ」。公衆よりも、己れ獨りを恐れよ。己れに耻かしからざるもの、何んぞ公衆を恐るゝを要せんや。

されば古より賢者は獨居を好めり。世間騷動の間に醉生夢死するは、愚者の事のみ。世間の日和を見、世間の塵に喘げる者よ。時に退いて獨りの世界に入れ。「吾人は鷲の獨り高く飛ぶを見る。常に群れ居る者は羊のみ、實にや獨居に勝れる賑かさなく、獨居に越したる友はなし世間に常なく、獨居に永久の命あり。高尚なる思想を友とするものは、さびしさを感ずることなし。能く獨りを樂む者、始めて人たるを得べし。而してその獨りを樂むるの道は唯その獨りを愼むに在り

## 諸國百譚　伊勢に傳はる哀な譚

憂川竹の流れの女にも、かゝる殊勝なるがあり。何時の頃とも知らず。伊勢國長島地方に在りしと聞ける譚はこれ。扨も此流れの女某と云へるは、唯一人の母親を失ひ、行末は孝養をとの思ひも空しくなりけるにぞ、只管無情をのみ觀じてありけるに、さる日、亡き母の墓處に詣でし折、不圖その畔に床夏の芽せるを見、こは母の魂なるべしと、そゞろ懷しく歸るさ、之を掘取りて、おのが居間なる庭に移植ゑし其日より女も病の床に就き、次第に賴み少くなり行きけり。然るに其頃に至り、床夏は眞紅の花と美しう咲きそめしより、さこそ母上には草葉の陰にて、私を待らめ、あはれ、此花萎まむ頃、母の後追はばやと云ひつゝけゝるに、此女の世を辭すると共に、この花の色も褪せはてゝ萎み了りしよりぞ此地方にては、此花をハダマシとなん呼び初めけるとぞ。ハダマシとは母の魂の訛れるなりとか聞けり。



## ▲佛蘭西に傳はる花譚

佛蘭西で奈破烈翁が時めいて居た頃、一世の才女として聲れの高かつたマダム、ド、ストールと云ふがあつた。

ある日のこと、その友の一人が、容姿の如何にも美い瑞西の士官を伴れて訪れて來たのである。交際になれたストールは、この初對面の士官の風采の立派なことを、幾度となく繰返して褒めたけれども、何の返辭もなく、さりとて臆した狀も、耻た氣勢も誇つた樣子もない。唯だ啞のやうに默つたゝ一時間以上も經つたのである。

ストールも餘りの不思議さに、此度は他の咄に移り返事を促しても、益なき口を動すばかりである。

あまりのことにストールは我慢が出來なくなつて、此愚かしき士官を誘れて來た友をかへり見て

「御身は我家の園丁と同じやうである。我家の園丁は今朝、妾の目を慰さめるため、紅色の西洋葵を持つて來たのである。併し妾は、直ぐに夫れを持つて行き、二度と妾の目前へ持つて來る勿と云ひつけたのであります。園丁は、それを不思議なことに思つて居るやうでありましたから、此花の紅色は他の花にも劣らぬほど美しい。が、あまり近く長く見つづけて居ると、一種の不厭しい香がして堪へられなくなる。いくら目ばかりには心地よくとも、斯う云ふ花は須臾も身近く置いてはならぬ」

と斯う云つて聞かせたのであると、彼の美男子の士官を蔑視にかけて云ひながら、戸を啓けて行つてしまつたさうである。

斯う云ふことがあつてから、西洋葵は愚者と云ふ又たの、ありがたからぬ名に呼ばれるやうになつたと云ふことである。

## 家事問答

皆さんからの御質問を歡迎致します

問　子供が水に溺れた時、何んな手當をしたら宜しう御座いますか（山口　それがし）

答　溺れた子供を速く水の中から引き上げ、濡れた衣服を乾いた衣服に取換へ、それから俯向けにして、枕でも蒲團を卷いたものでもよいから、腹部に當てがひ、口を開いて舌を引き出し細き布で舌を卷いて引き込まないやうにして置いて、水を吐き出させるのであります。水を出させて仕舞つたら、鼻の毛とか、草穗とかで、咽頭とか、鼻の中とか耳の中とかをこそぐるか、或ひは煙草の煙を鼻の中に吹き込んで、息を吹き返へさせる方法を取るべきです。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 私の好きなもの嫌ひなもの

愛國婦人會評議員　棚橋絢子

### ▲花と音樂

私には之れぞと云つて好きなものも無ければ厭ひなものもありません。花ですか。花も結構ですが、高い代を出して購つた花でも、鳥渡した縁日の花でも花は花です。高い代を出したからと云つて、代の割に花が美しいとも限りません。左樣かと云つて、全然庭内に花の無いと云ふのも淋しいものと思ひます。

音樂ですか。これとても格別好きでも嫌ひでもありませぬ。稚い頃、大きくなつて恥をかゝぬやうにと云つて、少しは兩親から仕込まれましたが、十三歳の時限り廢めました。それに棚橋の家へ歸ぎましてから以來全然手にしたこともありませんから、手は自由にはなりませんが、でも拙巧位は今でも解ります。それに口でならば大體のことが分り、調子の解つて居るのもあります。

### ▲ピアノは和暢で宜しい

それは日本の音樂ですが、西洋音樂は餘り好みません、が、その中でもピアノの音は好いと思ひます。何處となく和暢で宜しい處がありますね。

音樂は人の心を鎭め、人の心を和げるものですから、何の音樂に限らず和暢なものが宜しいと思ひます。ですから、彼の雅樂のやうなものは少し眠たいやうな處があると仰有る方もありますが、和暢なものですから私は、心を鎭めるものとして至極好いと思ひます。

西洋音樂のうち、バイオリンは私は大嫌いなのです。それは、あの音に騒がしいところがあり、少しも落付きが無いので可厭に思ふのです。それに烈しい音色が出ます。あの烈しい音色を私は最も好みませんのです。それに今一つバイオリンが嫌ひになつた理由があります。

### ▲「ハムレツト」とバイオリン

その理由と云ふのは、斯う云ふのであります。

全體私には西洋の演劇を見ても、人情と云ふものが違ふものですから、何うも面白くは無いのです。それに好くも解りませんから、嫌ひなのですが、以前は誘はれて見に行つたことがあります。

その演劇は「ハムレット」でしたが、彼の狂言のうちに、ハムレット王の耳に毒藥を注ぎ込む處があります。あの時に使つた鳴物がバイオリンなのでした。

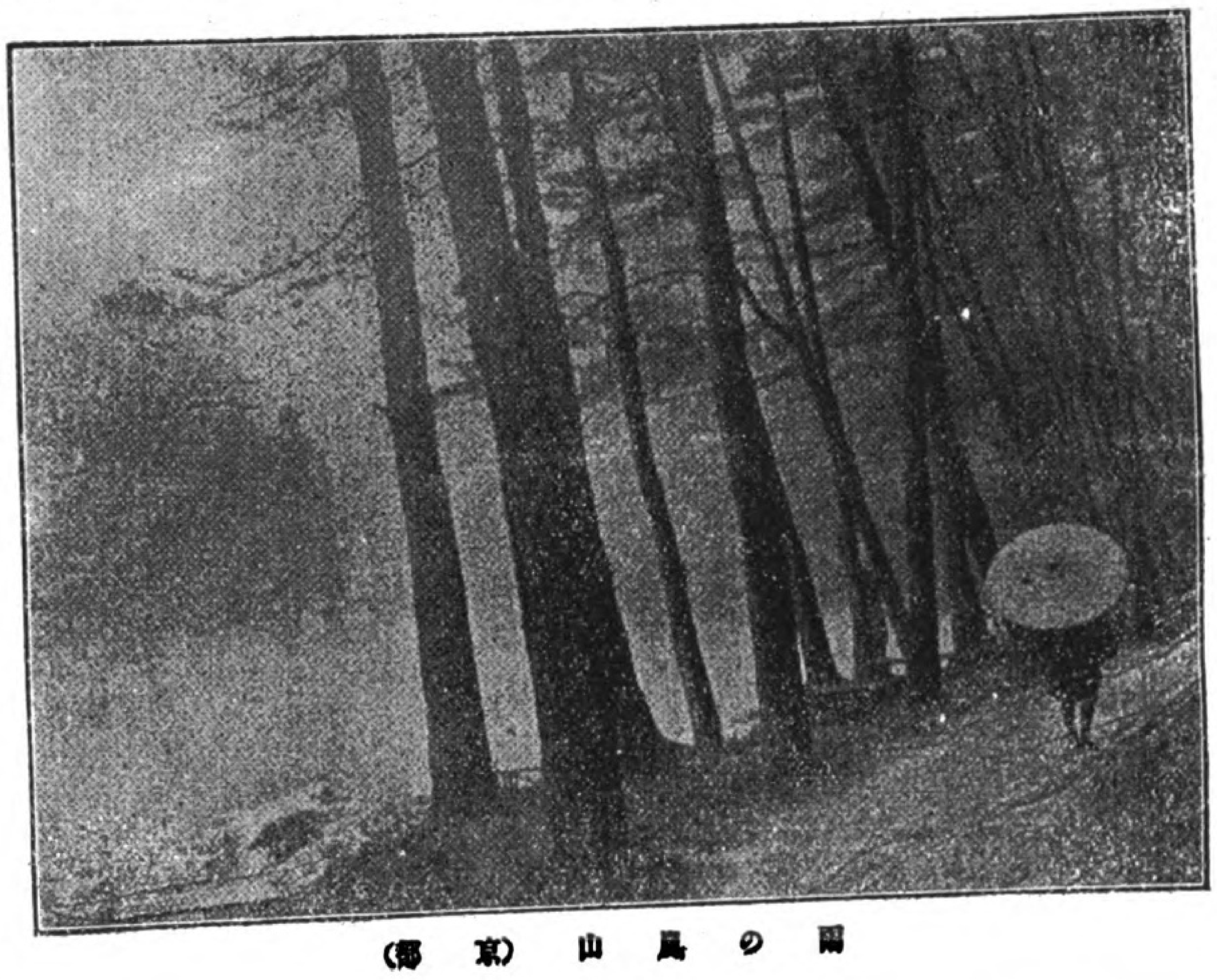
全體、バイオリンを好まぬ上に、彼の時に引いたバイオリンの音色は何とも云へぬ可嫌な音色でした。尤も、それは氣の爲もあつたのでしやうが、それ以來、私はバイオリンが一層可嫌になつたやうに思ひます。

嫌ひと云つても、元來好き嫌いの餘り無い私ですから、他人樣の嫌ひで聞くのも可嫌だと仰有るのとは、少し譯が違つて居りますから、左樣、思つていたゞきたいのです。

### ▲演劇と活動寫眞

演劇も同樣大して好きでも嫌ひでもありませんが、理由もなしに、お金と時間をつぶして行く氣にはなられません。

併し慈善演劇であると――私は最早子供を育てると云ふ責任も果して終つた身體ですから――一方には慈善と云ふ目的に適ひ、一方には樂しみにもなることひすから參ることがあります。



雨の嵐山（京都）

▲愛讀諸姉へお願ひ

一、前金切の方は何卒この際至急雜誌代御入金を願ひます

二、雜誌代御拂ひ込みの節、振替ならば登記料金二錢をお添へ下さいませ。

# 實布垤利亞に就いて家庭の注意

醫學博士　柴山五郎作

實布垤利亞病の恐るべきものも、血精療法の爲めに多くは全治することが出來るやうになつて居ります。が此實布垤利亞の傳染を防ぐことに就きましては、殊更、社會の公德を發達せしめたいものと思ひます。

### ▲免疫性の人

實布垤利亞に罹つた小兒は、病院に收容し、健康者と離隔し、病臥して居つた室を完全に消毒致しますれば、其傳染力も猛威を蓄ふ餘地なき次第でありますが實布垤利亞を看護する人や、附添人となつて居る大人が其實實布垤利亞に罹つて居ても、其病毒の爲めに健康狀態を犯されざる事が、實は内部から見ると、恐るべき傳染を爲しつゝあるのである。

傳染病研究所が、實布垤利亞患者の發生した家屋に近接地の人（患者を除きて）四百名を檢すると、必ず其一人は喉頭に猛烈なる實布垤利亞菌を有して居ることを、數年前から確めて居るのです。これを患者に就いて統計致しますれば、患者百人に就き二十人より三十人の間に於て其看護者、附添人が實布垤利亞の病菌を喉頭に持つて居ります。此大人等か喉頭に病菌を有して健康を害せざる事は、血液中に實布垤利亞菌に對する抵抗力を持て居る免疫性を有して居るからです。

### ▲恐ろしい危嶮

全國の實布垤利亞患者は、自己以外に斯の如き傳染的媒介者を有して居るのです。此免疫性に富む人等は、予は健康なりと稱して喉頭より出づる痰或は唾を處擇ばず吐き散らすのであります。

東京であれば、免疫性の實布垤利亞を多くの健康者中より發見する機關を有して居ります。實布垤利亞菌を培養する牛豚、或ひは檢鏡等の諸器械を調べるには一ヶ處二萬圓内外は是非かゝりますが、全國の町村に其負擔を強制して實布垤利亞の爲めに斃死するものを少くすることは、必要は必要ではあるが、經濟上中に行はれ難きことであります。

三町村が聯合して其設備を爲すことが出來る事なれば、迅速に襲來する實布垤利亞等の病菌を直に檢鏡し患者を治し、其傳染を防ぐ方法を採る事が出來ますが兎に角、健康者と毫も異らざる免疫性實布垤利亞を喉頭に有する人、或は完く健康者等を一定の時日間抑留すると云ふ事が、必ず起り來る問題となります。

### ▲必要な人道問題

人道問題としては、完く健康者（患者の家の附近の）を一定時間檢鏡を要する爲めに抑留せば、必ず不法なる壓制として、反對するものを生ずるは、火を睹るよりも明かであります。併しながら、社會の公德上より見れば決して壓制ではありませぬ。唯だ健康者四百人中何人が、實布垤利亞の免疫菌を有し居るやを調査するには、菌の培養時日間だけ、それだけ抑留するのみでありますから、是非とも、一定の時日間抑留せらるゝことは喜んで應じられたきものであります。

日本の現狀が果して、斯かる公德が實行し得られるならば、私は國家衛生上、社會衛生上非常に喜ぶべき事柄と思ふのであります。

唯、私は學理の爲に忠實なる説を爲すに止まるのであります。家庭を圓滿に送らるゝ諸婦人に對し、殊更に御注意を希望するのであります。決して出來得ざる問題として御笑なさるゝよりも、免疫性を有する危險なる人の徘徊橫行せらるゝ事を成るたけ避けらるゝやう、願ひます



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 「婦人の仁」は婦人に最も必要なり

江原素六

△女學生一人に男五人

目下我國に於ける女學生の數と男學生の數とを比較して見ますと、女學生一人に對し男學生五人の比例になります。以前には、娘一人に婿八人と云ふことが云はれて居りましたが、男女就學生の比例から云ふと男五人に女學生一人と云ふ割合になるのであります。

△維新以前と以後

明治以前は唯今ほど學問の必要が認められなかつた爲め、一般の狀態から云ふと、男子は餘り學問を致さなかつた。それに較べると、婦人の方は割合に學問をして居りました。少くとも内助の功を全ふすることの出來る程度に學問を致て居つたのであります。

然るに維新後四十餘年を經過した今日になりますると、一方では學問の必要が認めらるゝと共に、また一方では世の中が仲々忙しくなつて、男子が何時までも學問をして居られぬやうになつて來たのであります。或る程度まで學問はするが夫れから將來には、殆んど學問を捨てゝ活きた世の中に立て、男子は働かなければならぬ。それと較べると、婦人の方は未だ〳〵樂なもので、結婚期の來るまでは落付いて學問をして行かれるのである。然るに未だ〳〵婦人で學問をして居る方は、男子と較べると五人に一人と云ふ割合であります。して見ると、これには何か原因がなくてはならぬ。その原因の一つは、結婚期までに婦人として必要な學問を仕終せられるやうな組織に、女學校が出來て居らぬと云ふことになるであらうと思はれる。

△「婦人の仁」とは何ぞや

「婦人の仁」と云ふことが云はれて居りますが、これは、男子が男子に向つて發した言葉であつて、男子が婦人に對して發した言葉では無い。この「婦人の仁」と云ふ言葉の起源はと尋ねて見ると、彼の漢の高祖の三傑の一人として世に知られたる韓信が、項羽を評して云つた言葉なのであります。

元來項羽は人に接する時、至つて親切であつて、臣下のもので病人でもあると蛇度涕いては食物なぞを分けて遣ると、斯うまでに親切にして居つたのであるが、何か一かどの功績でもあつた時、その戰功の將士に對して恩賞を與へる段になると、容易に埒が明かないのである。唯今の普通の言葉に直して云ふと、やゝともすれば恩賞を値切るやうなことをするのであつた。項羽のかゝる遣り口を評して韓信は「婦人の仁」と云つたのである。

斯る遣り口は男子としては、甚だ不可ことであるが、婦人が一家の經濟を握る時に當つては男子と違ひ、かゝる「婦人の仁」と云つたやうのことが必要の場合が起るのであります。否、婦人として最も必要なことが在るのであります。

△上流婦人は經濟的

婦人は一家に主婦として飽くまでも、細かいことに氣を付けねばならぬ。極く僅かなことであつても、無用の費は成るべく避けるやうにしなければならぬのである。これを維新前のことに就いて考へて見ると、維新前の婦人は、上流社會ほど經濟のことに詳しかつたのでありますて、無用の費をせぬやうにと、飽まで仕込れてあつたのである。

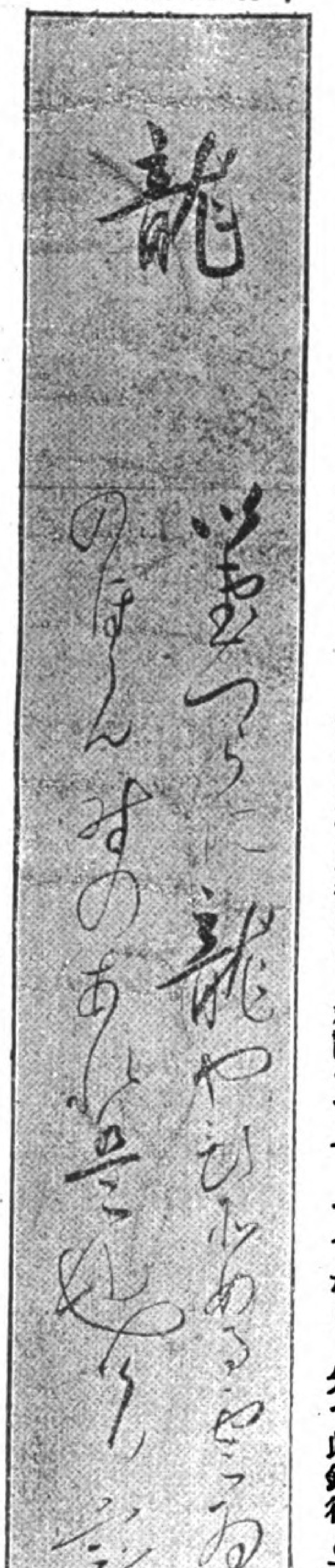
例を擧げて云へば、爰に一揃の晴れ衣を着る必要が起つたとする。これを悉く新調して着れば、成る程、着心が好い。着心は好いが費用がかゝる。費用を節して新調するには、三枚重ねの一枚だけを新調して、他の二枚の裏ねは、新調せずに襟だけ更へて濟ますやうにすれば好い然う云ふことは、上流婦人の方が務めてすると云ふやうになつて居つた。が、中以下の婦人の方には比較的、かゝる覺悟の婦人に乏しかつたのでありました。

それは主に維新前のことであります。唯今になると、何うも左樣は行かぬやうに思はれる。

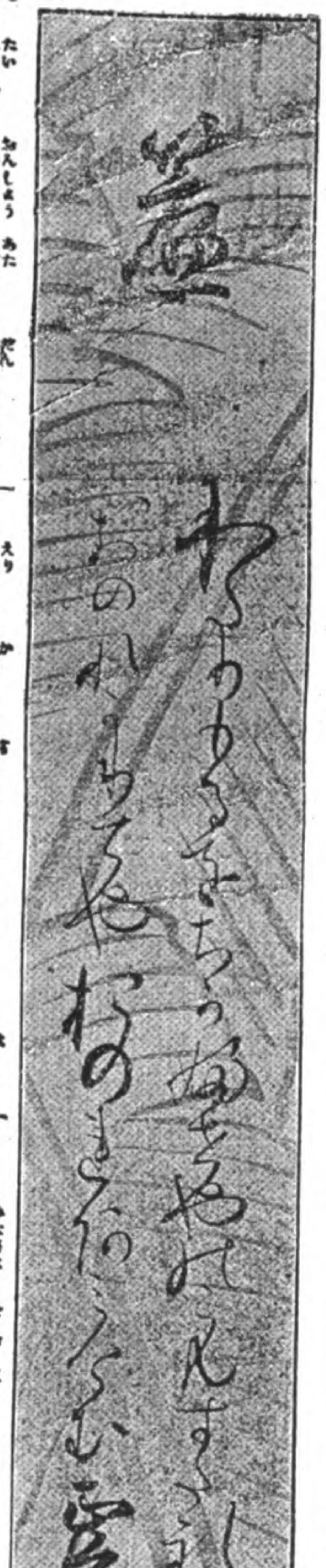
以上は去月廿日本郷元町舘秋實用女學校の開校式があつた時、その席上で話された談話の一節であります。尙ほ此續きは次號に掲げます

當代名家選

今泉定介大人



阪正臣大人



## 金錢の融通機關

△剩餘金の行く先

一家經濟の結果、剩餘として殘る金錢は何處へ行くかと云へば、普通人の十に八九までは銀行に貯蓄さるゝのは、云ふまでも御座いません。

銀行！成る程銀行へ預けられるが、さらば、銀行とは何う云ふものか、何をするものか、と、その預金をする人に聞くと、それに對して、銀行とは云々の性質のもの、云々の業務をする處と明瞭に說明し得る人は少なからうと思ひます。ですから、先づ此銀行と云ふものに就き、諸姉に御合點の行くやうに、簡單に說明を申し上げ、更に保險とか產業組合とか、その外、兎角その性質は知らいで便宜上利用して居らるゝ經濟的諸設備、その他のことのお話を順次に致したいと思ふので御座います。

△銀行とは何う云ふものか

一口に申さうなら、銀行とは一方から金を借入れ、もう一方では此借入れた金を貸付け、資本を圓滑に運轉して行く機關で御座います。斯う申しますと銀行業は金貸業と同じものゝやうに考へられますが、銀行と金貸とは大層違ふので御座います。と申しまするのは、世間の金貸と云ふのは、自分の持つて居る金を他人に貸附け、その利子を得る。それを目的に營業して居る。然るに銀行の方は、少し夫れと遣り方が違つて居ります。銀行の方では一方では低利で人の金を預り、その預つた金を比較的高い利子を取つて、他に貸し付けるので御座います。すると利子の差が出來ます。この差を目的として營業するが、これ取りも直さず銀行業で御座います。

## 初めて見た活動寫眞（二）

そこで次郎は阿父さんに其事を申上げて、アフリカ人の詳しいお話をして下さるやうにと願ひました處、阿父さんは大層お悦びなされて

「卿は何事でも研究して見る氣があるから、實によろしい。問ふは一代の耻、問はぬは末代の耻と云ふことを、昔の人は云つて居る。少しでも判らないことがあつたら、それの好く判るまで、今後も充分に聞くがよろしい。」

と云はれ、いろ〳〵とアフリカ人のお話を次郎にして聞かせられました。

そのお話と云ふのは、斯う云ふのです。

世界中で、アフリカほど不思議な土地はない。奇體な獸類も住んで居れば、奇妙な人類も住んで居る。世界中で一番大い沙漠もあれば、世界中で一番澤山金剛石の出る鑛山もある。

世界で一番賢いと云はれた人々のうち、幾人かは昔、此處に住んで居たこともあつたし、幾千年か以前には此アフリカと云ふ大陸の處々の都に大きな圖書館もあつた。が、今日、このアフリカに住んで居るのはニグローと云はれて、眞の野蠻人。書籍とか、學校とか云ふことは何にも知らない。多分、自分の生れた日も知らないのだらうと思ふ。

朝から晩まで、ニグローは黑い光に光つた肉體を露出しのまゝ、衣服を着るでもなければ、履物を穿くでもない。赤道に近い暑い土地だから、何かで身體を掩ふに及ばないのであらう。

今度から本誌に愛讀諸姉の作られた短篇小說を載せ、一層の光彩を本誌に添へることに致しました。諸姉萬障振つて御投稿を願ひます但し一行十八字詰にお認めの上。八十行以內に纏めて戴きたいのです但し期限は定めませぬ。諸姉からの佳作が屆き次第本誌に掲げます。成るべく玉稿と一緒にお寫眞をお送り願ひ度う御座います。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小說

# 溜息

森まつか

「當代の若いものは、それだから困る」
と、苦い顏をして不味さうに煙草を喫して居る。口と鼻から吐かれた烟は和暢に苦い顏を掠めて立上る。

朝の十時である。梅雨晴れの空は拭ふやうに明く、暑く輝いて居る。

風は忘れた程、全く凪ぎ、庭の青葉から照り返す綠の光は、彌が上に暑さを添へるかと思はれる。

「妾は最早、死前の身だから好いが」
と、苦い顏は一層に苦みを添へる。老ひ行く年波に刻まれた額の皺が、一入皺められたと思ふと、苦しげに咳き入りながら、長煙管で長火鉢の緣を思ひ切つてはたく。その拍子に煙管の羅字はぽきりと折れた。

「まあ、お祖母さま」
と、孫嫁のお利は側にすり寄り、背中を擦る。

「祖母ちやん煙管打れた」
と、曾孫の長太郎は、惡戲ざかりの面白げに、食臺の周圍を跳ね廻る。

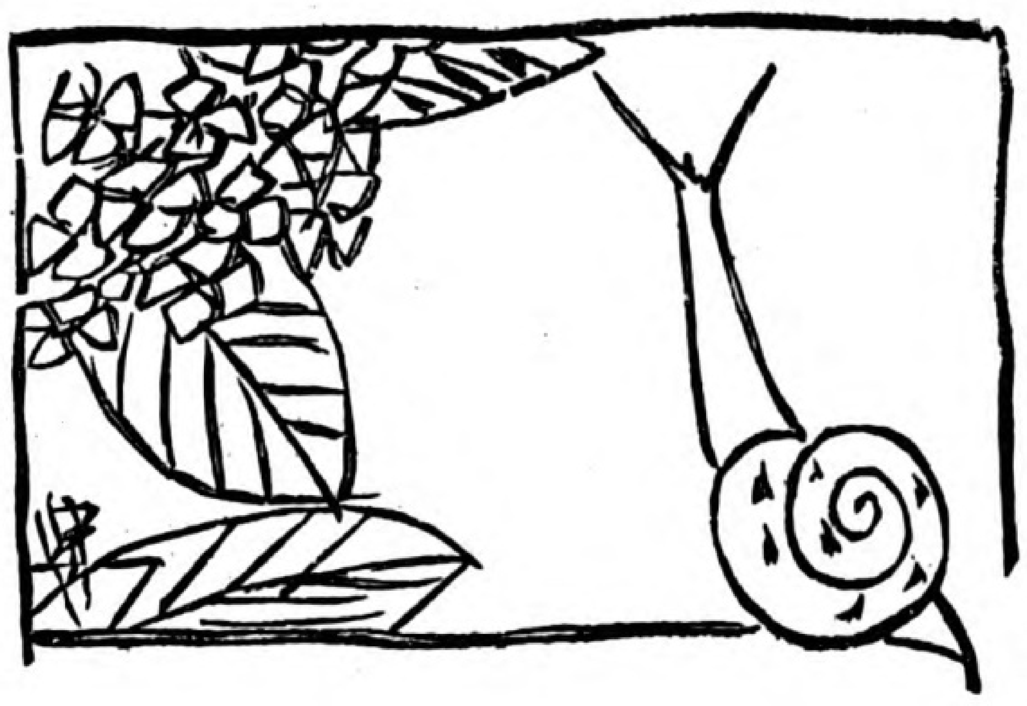
「靜かになさいな」
と、母のお利に叱られて、ぷいと茶の間を出たかと思ふと、最早庭下駄を穿いて庭の奧の木立の方へと駈けて行く。

「最早、宜しいよ」
と、祖母は苦々しげに云ひながら、火鉢の椽につかまつて、漸く腰を伸し〳〵立ち上る拍子に、よろめくのを見兼ねて、お利はまた摺寄つて、祖母の身を支へた。

「宜しいよ」
と、祖母は再び繰返しながら、椽側傳ひ自分の居間へと行つて終ふ。

長火鉢の向ふに、今まで無言で座つて居つたお利の所夫は、祖母の後姿を見送りながら、憮然と溜息を吐く。

遙かの大通りを通る電車の音、自轉車の鈴、自働車の馳る物音が、定齋屋の箱の音、麪麭屋の物賣る聲、廣告屋の樂隊の音器の音色と合同になつて聞えて來る



「電車の道は十文字……」
と、折から庭で長太郎の調子はづれに、無心に歌ふのが聞える。

お利は所夫と顏を見合せて溜息を吐いた。その時、恰度、隱居座敷からも、態とらしい溜息が聞えたのであつた。

講談

# 鳥居强右衛門（七）

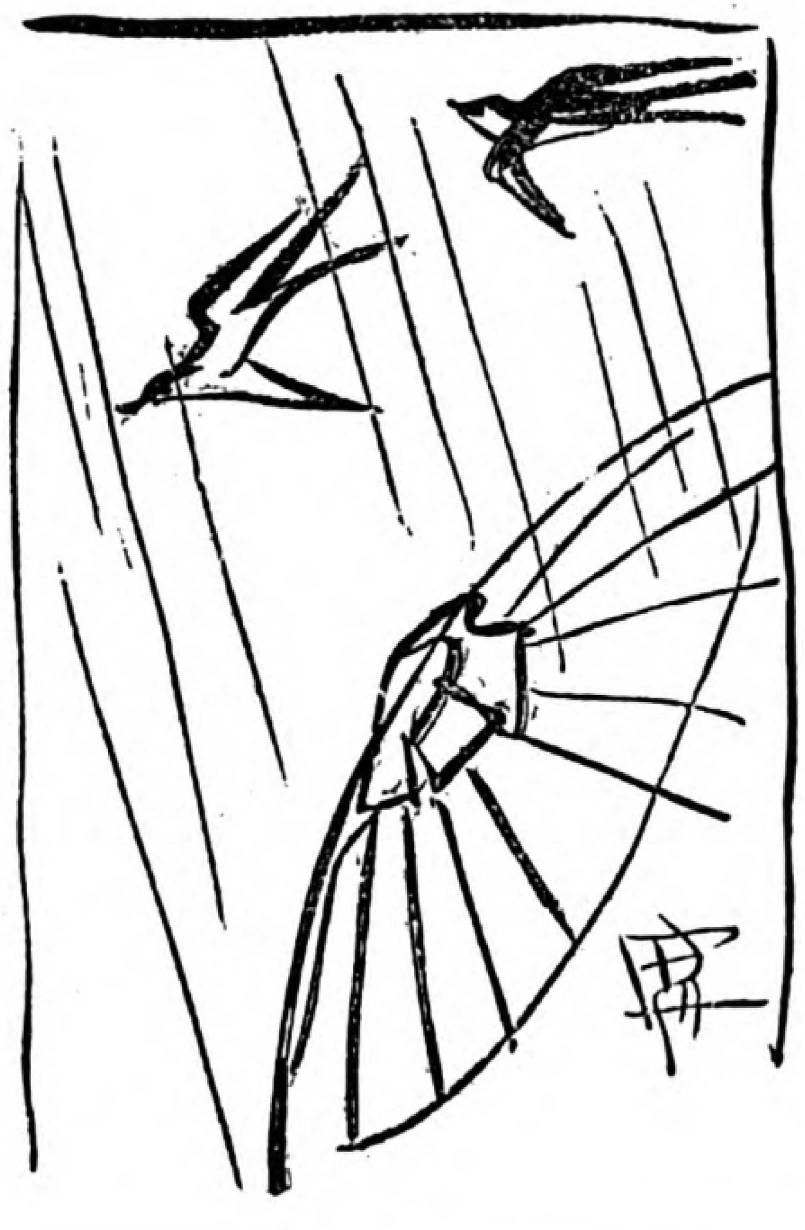
大島光利口演

然るに鳥居は合圖を終りて、之にて心安しと林の裡に駈入らんとすれば、早も武田の雜兵得物を携へ、四方より駈せ來り、煙を擧げて合圖をなし、殊に砲聲徒事ならず、怪き曲者逃すなと競ひかゝれば、剛氣の勝高、近寄る者をば取つて投げ——或ひは蹴飛し、はね飛し、勇を奮いて戰へども衆寡敵せず、身體勞れ遂に此所に於て縛されました。

直に跡部大炊介の陣中に牽來たる。長坂長閑齋其他皆立合て仔細を取調ぶれば勝高は卑劣たる擧動なく太息を吐て顏を擧げ　强「斯捕虜人となる上は、包み隱すも何かせん、拙者は長篠城の大將奧平九八郎の身內にて鳥居强右衛門勝高と云へる者なりと云へば一同顏見合せ、偖こそと云はぬばかりに前後左右を取圍「其方は鳥居强右衛門と申するか。如何いたして城內を脫出たるぞ。又籠城に漏たる身の上なるか。鳥居カラ〳〵と打笑ひ、强「主家の大事に身の安全を圖り、籠城の人數に漏るなどとは日本の武士道に非る事、苦樂生死は何處までも願ふは臣下の常。籠城中にてありつれど、淸和源氏の嫡流たる武田に似氣なき卑怯の振舞。遠卷なして兵糧責、樊噲張飛の勇あるとも晉手を束ねて餓死を待のみ。故に吾が身を鴻毛の輕に比し城を脫出で、各方の硝兵を除け、後詰を乞ふて參りたれば攻め寄來たるは束の間にて、御氣の毒とは存すれども總敗軍に陷入るも早や眼前に迫られたり。サ、慥く眞實を告る上からは、敢て命は惜むに足らぬ、美事に首を刎られよ。吾死するとも忠義の魂は長篠城の櫓に登り、主家の勝戰を見物せんと云ひ終つて首を下ぐ。

諸將評議をなして勝賴に此事を申上る。ソハ珍らしき剛の者なり、殺すは易き所爲なるが、渠を種に城兵を欺き後詰の來たらぬ其裡に長篠城を落城させ、根據となして戰なば織田德川の大軍來たるも決して恐るゝに足らずと、聽て二三名の辯者を撰んで强右衛門の前に來たり、以前と違つて言葉遣ひも最丁寧に小腰を屈め○「如何に鳥居氏御身の決心、武道に於ては實に感ずるに餘りあり、然れども孤城落日に迫りたる長篠城に可惜勇士を失ふこそ武士道に於て悲しけれ。夫御身の主人と賴む奧平を見よ。現在吾が武田の味方たりしも、今日反旗を飜へし、主家に背くに非るか。依て御身は城門際に進まれ、城內に向つて申されよ。吾れ岡崎に到り後詰を賴み入れたるが岐阜の信長公、何か思ふ仔細あるか、加勢の人數は出さぬ由。殊に他國の戰の都合に因て、岡崎城よりも後詰は叶はず、去るに依つて、速に城門を排き、武田に降參いたさるべし。然して御主君の安全を謀り給ふが良策なりと、箇樣大音にて云ひ込れなば城は忽ち落去すべし。左ある時には甲州に於て一城の主人なりとも取立て重く御身を用ゆべし。如何に得心せられたるかと右左より言ひ聞かす……。

（あと一回にて終る）



裁縫顧問

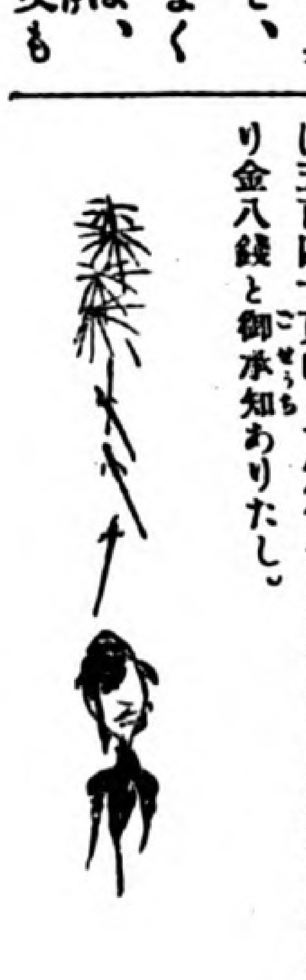
# 女帯

**全帶の仕立方**は先づ品の伸縮を直したる後、布の緣を少しく伸し（但し、左右の端を同樣に伸すなり）次に兩端に織出ある時は、此織出の曲らぬ樣に、是も眞直に直したる後、布の表を中になして、幅を二つ折りになし、兩端の織出をよく揃へ、少しにても織出幅の揃はぬ時は、一方を伸して必ず揃へたる後、幅も丈も揃へて、丈一尺位づゝ間を置きて待針を刺し、次に緣の方を二枚共に躾絲にて綴ぢたる後、丈五寸位づゝ間を置きて帶幅の標をなし、羽二重絲か又は普通の絹糸を二つに割りて、針を一分先に出しては五厘後へ返して絲を十分强く引き、帶丈の眞中を丈一尺殘し置きて縫ひたる後、縫ひたる絲の所を、兩方より平鏝を布を引きながら掛けて、縫ひたる所の引釣り居らぬ樣になし、次に躾絲を取りて、割鏝を掛け、次に兩端を幅標の所まで、是も返縫になして、兩方より鏝を掛け（但し此所の縫代は片返しになし置くなり）次に左右の角の所は、橫の方を先に折りて、始めに帶幅標の所を縫ひたる絲の所に二枚とも縫附けたる後（但し返針）上の方の縫ひ込みを一枚角の所だけ切り取りたる後、幅の方の縫込みの一枚を折返して、橫の縫込みに綴附けたる後、心を入るゝなり。

以上は今回漸う發行された故渡邊辰五郎氏著『高等裁縫講義』の一節です。

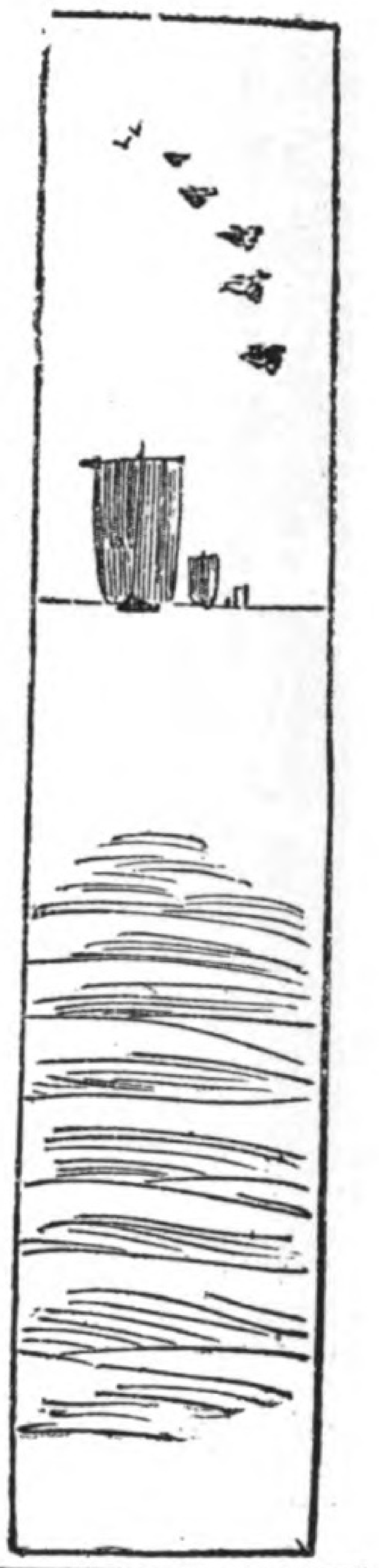
高等裁縫講義の出版

日本裁縫界の泰斗として聞え高き故東京裁縫女學校長渡邊辰五郎氏が十數年間大日本女學會の爲に講義された諸種の裁縫講義中より最も家庭に適切入用な仕立物を拔き取りて一冊に纏めたる此講義は御約束の期日には後れたれど非常の歡迎の裡に今回出版さるゝと同時に初版殆んど盡き今や再版に着手せり、再版は更に一層紙質も表紙も上製となれり、未だ御注文せられざりし愛讀諸姉にして御入用の方は此際東京青山原宿二百十、（電話新橋千八百三十番、振替一一八三六）大日本女學會へ直接申込みあらば特價一圓にて送本すべしとのとなり。尙ほ在來我が發行所へ申込まれたる方へは既に代金を納附されし方のみへ送本せり。未だ代金及び郵稅御送りなかりし方は右代金大日本女學會の方へ御送りありたく、御送金次第送本すべし。因みに再版の分は五百四十頁にして定價一圓三十錢、郵送料內地に限り金八錢と御承知ありたし。





Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



### 閑院宮家の御慶事期近づく

竹の園生の御榮え何方も芽出度きが中に閑院宮家に於せられては恭子女王(御年十四歲)茂子女王(御年十三歲)季子女王(御年十二歲)春仁王(御年八歲)寛子女王(御年四歲)五方の王子王女在しまし御家門の繁榮極りなく殊には去三月妃殿下には重ねて御着帶の慶でたき御儀式を擧げさせ給ひしと承はる素と妃殿下の御康健最と勝れ毎々の御產褥も輕やかに在せば格別に其がため御氣を惱め給ふが如き事もあらせられざれど豫て皇孫殿下竹田宮若王子殿下の御生誕に產婆の重き勤めを拜せし岩崎直子刀自の進言を容れさせられ其頃より一切御他出は御見合せと相成り御邸內洋館階上の御座所にて御靜養御慶事の御日取りを樂み待ち給ひけるが難波博士も岩崎刀自に力を併せ拜診の結果御慶事期は確かに此月下旬と拜察する旨言上に及びたれば中將宮の御喜びは申すも長く家職侍女の面々御產殿の準備に忙しきが妃殿下には差迫る御產期にも係らせられず平常の如く若宮姬宮の御養育一切は侍女の手を借らせ給はす御躬ら取做さるゝ由に承れるが宮家一層の御繁榮の爲御產褥の安穩ならんことを祈り奉る

### 四老卿の壽筵

去六日上野精養軒に於て佐々木侯及び黑田子の八十歲土方、東久世二伯の喜壽の賀宴開かれしが、四卿が何れも國家の功臣として好く老壽を保てるを御滿足の思召され皇后陛下には親しく御染筆遊ばされたる左の國風を賜はりしと

あえものとともてはやすなりすくよかに
よはひかさねしひとのさかつき

### 赤十字社總會

去四日午前十時半日比谷公園に於て同社第十七回總會擧行され皇后陛下並に東宮、同妃兩殿下臨御遊ばされ左の令旨を給ふ

令旨

本日赤十字社第十七回の總會に臨み各員を見るを喜ぶ客歲は韓國に於て社員總會を開きたる趣追々斯業の發展するは滿足の至りなり尙將來本社の事業益盛大ならんことを望む

總裁閑院宮殿下奉答社長松方伯爵の報告常議員監事の改選等あり十一時閉會せり本日の來會者約四萬人なりしと

獨逸醫科大學教授ソキスット氏創製

滋養糖

本品は小兒哺育用最良の滋養料として本邦小兒科泰斗弘田博士の紹介せられたるものに之あり牛乳に和して胃腸病兒に與ふれば胃腸を强健にし健康兒に用ふれば體量を增すの効あり目下帝國東西大學小兒科を始め瀨川博士の東京小兒科病院其他各家庭に於て盛んに賞用せらる

全國到處の藥舖食料品店にあり

東京神田美土代町四ノ五

和光堂

電話本局一六四八番
振替貯金口座一四九五九

京都御料理

お多福豆

平野家東京支店

電話本局三千百三十番
東京日本橋區上槇町拾壹番地

### 男爵の無錢旅行談

露國サケン男爵は獨逸を祖國とし既に百八十有餘年を經たる家柄の人なる由に聞けるが今日世界各國の人が嚢中無一物の人間に對し如何なる方法を以て待遇するかを試むると云ふ不思議の目的にて我邦に來着せるが大隈伯爵、志賀重昂氏の同情を得去八日午後六時半より神田青年會館にて集會を催し瀨沼神學士の通譯に依りてサケン男の旅行談、大隈伯、志賀氏等の演舌あり其翌日を以て男は我が郵船會社の厚意によりて得たる無賃乘船劵と人々の厚意に依れる約二百圓の金子を懷にして米國へ向け出發せりと

### 各種萬國會

外務省にて調査た各種萬國會議及び博覽會等にして我國へ參同を申込みたるものは左の如しと

| 會名 | 會期 | 主管地 |
|---|---|---|
| 第一回行政學萬國會議 | 四十三年 | 比律賓 |
| 食品分析法一定に關する國際會議 | 四十二年下半期 | 巴里 |
| 第十一回萬國地質學會議 | 四十三年 | ストックホルム |
| 第十六回萬國醫學會議 | 四十二年八月 | ブダペスト |
| 第八回鐵道會議 | 四十三年七月 | ベルヌ |
| 第九回萬國獸醫會議 | 四十二年九月 | 海牙 |
| 第六國萬國保險會議 | 同　六月 | 維也納 |
| 第十二回萬國統計協會々議 | 同　七年 | 巴里 |
| 第十五回萬國測地學協會々議 | 同　九月 | 倫敦 |
| 第三回萬國海法會議 | 四十三年九月 | ブリユッセル |
| 比律賓市萬國博覽會 | 四十三年 | 比律賓 |
| 美術歷史及古物學萬國博覽會 | 四十四年 | 羅馬 |
| 諸工藝品萬國博覽會 | 同 | 同 |
| アラスカ、ユーコン太平洋博覽會 | 四十二年六月 | シヤートル |
| 日英博覽會 | 四十三年 | 倫敦 |

### 動物愛護會

は去十五日午後五時より神田學士會にて臨時總會を開き畜犬箝口問題に付協議し場合に依りては取消を其筋に請願すべしと

### 全國の學齡兒童

文部省の調査に依るに四十一年度に於ける學齡兒童總數は男四百廿四萬一千四百五十二人、女三百九十四萬九百六十八人、計八百十八萬三千四百十三人にして此內不就學者は男女合計十八萬三千八百九十二人ありと

### 全國の幼稚園

公私立幼稚園總數は三百八十五校にして、公立二百八私立百七十七、保姆總數八千六十二人、幼兒總數三萬五千百三十二人にして、尋常科小學兒童中千人に付、幼稚園の保育を受くるもの約八人の割合なりと

### 圖書館科講習會

東京市教育會にては來る八月二日より同月十一日迄十日間每夜七時半より十時迄神田小川小學校にて圖書館講習會を開く由にて出席希望者は來七月千日迄に東京市役所內事務所へ申込まるべしと但し講習料金一圓五十錢の由

### 音樂講習會

神田錦町三丁目日本音樂協會にては來八月一日より三週間第七回夏季講習會を開き唱歌科、ピアノ科、オルガン科、ヴアオリン科、和聲學の講習を爲すと云ふ

高いじまんと安いじまんの浴衣地其外お單衣物一式取揃へ居候

おばなや本店

めりんす友染でおなじみの日本橋區人形町通り赤のれんおばなや本店にて今年のおゆかた地は有名なる竺仙染を始め總て粹き向新柄澤山取揃へ申候間一應御遊び旁々御來駕の程奉待上候御用の節は電話浪花四三四五番へ願升



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 和歌 —夏季雜題—

▽用紙は葉書又は葉書と同型の厚紙に限る△選者は各自指定のこと

### 佐々木信綱選評

**天** 岩代 長谷川よしの

誰そありて白銀の笛ふく如く朝の野わたる五月そよ風

評、初夏の風のおもふきいとたくみにうたひ出られたり

**地** 岩代 西山 佐保子

ゆあみして月まつよひのおはしまにほときすきく溫泉の宿りかな

評、汐原飯坂の溫泉などに遊びし夏の夜思ひ出られて

**人** 横濱 鈴木 まつ子

舟人も心ありてか郭公なきつるかたを打なかめける

評、心なき舟人に心あらしめたるおもしろし

#### 佳作

紫陽花や若眉にほふ尼をとめひとり住むとふ夏ごもりの窓 京都 露 緒子

評、尼をとめの匂いかゞ

ああ一日君を見ぬ日はかなしみの胸に遠見るなつの月かげ 下野 相馬八重子

みだ誦むこゑも淋しく聞ゆなり桐の花ちる山寺の庭 三河 蟹江と代子

たれかとふ人のありけむなてしこを卯の花垣にさしてしろすは 三重 中島千萬子

草むらに母の小笠に日を除けていとやすらけくちごこのねむれる

柴の戸の軒端にかゝる菖蒲草はなの盛もしほらしきかな 三重 莊司 種子

うの花の咲く里わたり青葉月ほのかに照りぬ明けやすき夜を 下野 瀧澤 秀子

花は散り青葉となりぬ乳母が家に山ほとゝきす聞にゆかばや 紀伊 土井 利子

病むわれを朝な夕なに訪つれてさひしく啼くよ山時鳥 大分 桂木 靜子

水清く四方のながめのみとりしてこゝろしづけき夏の山里 豐橋 平松いと子

里人か水せきいれし千町田にこゑかしましく蛙なくなり 岩手 渡邊豐惠子

桑摘の娘子うたふ初夏の朝風涼し信濃路の里 越後 杉山千勢子

小雨やみ時鳥なのるなり夏衣せる森のあなたに 京都 檜山 いつ

なり／＼は雲間に弱き日の見えてむし暑き日よ雨蛙なく 遠江 馬淵かなゑ

初夏のかぜは薔薇をわが胸をつゝむとしてはなつかしく吹く 横濱 板倉かずえ

夕月のかげまたのころ朝みちをつゆふみわけてたとる涼しさ 岡山 西村 長子

たとれともまたはかとらぬ夏の山いかてこゆらむしきしまの道 神奈川 足立原とく子

水清き池のかゝみにうつりけり色うるはしき姫ゆりの花 長門 薦田 眞子

梅雨の空おもく頭にかぶさりて足につめたき裾さはりかな 備中 仲田 すゑ

白き衣たち縫ふ母の側に人形もちて餘念もあらす 青森 留目わか子

五月雨のふるの山田に少女らか舞るゝもまたて早苗とるなり 遠江 寺田兎喜子

われといふことしなけれは家のうち波もたゝしな風もふかしな 京都 白 百合子

## 俳句 —夏季雜題—

締切 前月十五日 發表 ——五日
締切 前月三十日 發表 ——廿日

### 內藤鳴雪選評

**天** 東京 山本ふみ子

宮人の假寢をてらす螢かな

評、靑く凄き御顏や

**地** 下野 瀧澤 秀子

新墾の小村涼しく日は暮れぬ

評、白帆堤に沿て行く

**人** 東京 西村 鶴子

月よさに詩人寢られず靑簾

評、待つ戀と人や見ん

#### 佳作

山鳩のとんで新樹のしづくかな 三河 山內 經子
人もなき小沼の舟や夏木立 京都 加藤たつ子
夕顔の花に田舍の唄涼し 東京 よしゑ子
(編輯局より)匿名は以後愼まれたし。
炎天にひやつく聲の氷賣 三重 莊司 愛子
溫泉の宿に恙なき身の袷かな 福島 高山 美枝
日盛りや人一人なる渡し舟 紀伊 土井しの子
小蛙い飛び出したる釣瓶かな 下野 相馬八重子
亭深う見えて庭木の茂りかな 東京 永島 道子
五月雨や取り散したる机の本 横濱 上杉らく子
入海の岸に若葉のしづくかな 備後 世羅 鶴子
蝙蝠や化粧すみたる小傾城 横濱 板倉かずえ
亡き人のみたま祭りや時鳥 岡山 西村 長子
雀子につぶてを打てば梅落ちて 福島 小島ひろ子
夏の月蚕が苫屋をてらしけり 東京 田島 文子
はふり子の烏帽子に蟬の止り兒 豐橋 市川みどり
ふしくれし松の根方の菫かな 大分 桂木 靜子
五月雨に猫のおごりを見る日哉 下野 黑須 菊子

## 小品文 —(隨意題)—

規定 一篇は百八十字以內のこと 住所氏名を明記せざるものは選に入れず

### 胡蝶より (二等) 兵庫 芳村すゞ子

さてはとらはれの御身とならせ給ひしよゆかりの色の御袂華やかに輝き給ふべき此頃をさりとては顯世のはかなき世や。相見し陽炎の一日土筆の蔭に芳はしき白露くみ交しつゝ匂ふ羽袖も輕やかに調べ出でし胡蝶舞の一さし噫今は甲斐なし、里川の御漂ひや、歌人の手にかゝらせ給ひてとならば、我は歎かじさはれ今よりは謠ふも舞ふも只一人、君にし別れてこの胡蝶いづれの野にかさすらひ行かむ。

評、印象すこし朦朧なるが瑕なり。

### ふた柱の神を拜し參らせて (三等) 三重 中島千萬子

北白川宮殿下と周宮殿下と千世の契りを結ひ給ふにより伊勢の大神の宮へ參らせられそれより二見か浦に成らせ給ふ長き緣を七五三かけていはふ岩が根の高くそひゆる御よそほひ、天津御神の天降り給ふここちしていともかしこく目出度きことの極みなれ、御裳濯川の流れくむ我民草のことほく聲は、朝熊の山にこたまして遠方までもどよみけり。

評、莊嚴の筆致崇高の光景。

### 亡友を弔ふ(秀逸) (嫩草會試作) 府下 佐野くに子

往事を顧みれば夢のごとく、三春はやくも暮れんとして、君が墓前の白楊永しなへに憂愁の姿に佇む。今日しも命日なれば我も墓參す。手向くる每に淚あたらしく、悲しみの露たもとに重し。歸らんとすれば啼く山ほととぎす。袖な引き止めそ、あはれ時鳥よ、君よ、御墓よ、思ひは繁し此の夕暮。

評、君が淚の手向草を、よみぢの人の如何に嬉しく思すらむ。

#### 佳作

**夜半のなげき** 京都 津田つき子

母なき後は谷間にからむ只一筋の藤のつるとも賴みなりし父は花咲き匂ふ春の夕べ、流れゆく星と諸共に消えてあとなくなり給ひつ、はなれ小島にのこされし私がなげき、いかばかりぞや、降る五月雨のそれにも增せし淚の露を、せきてとゞめんすべもなし葉末にねむる胡蝶にも似たる身の上のはかなさよ、むかしを忍ぶこよひの空、海に潮さす思ひはましぬ、あゝ情ある父もあり母ある人よ、ゆめにも見じやかゝる思ひを。

### 嫩草會詠草

■ちゝに思ひ云はでやむべき女とふかりのかたちにわれは生れぬ 露 緒子
■いと弱きちいさき我よ大なるちからをしたふ小さき我よ
■そは人の姤み心のわざならめ信じたまふな斯く云ひて泣く
■とあることおもひ浮べて琴の緒の切れしを愁ふ日もありしかな
■われ浮草しぼめるさまも波のむたたゞよふさまも似てはかなけれ 北條すゑ子
■五ひらのちいさき花の色に似ていさゝかなれど香に匂ふ少女 瀬本 雅子
■わがいほは左につくばみぎに富士大利根めぐる川沿の里 衣笠きく子
■もろ草のなかに匂へる壺すみれたをやめに似て美しきかな 小山つぎ子
■靑葉よりつゆもこぼるゝ心地していでし月こそ凉しかりけり 鈴木まつ子
■敷しまの道しるべにと君植ゑし嫩草世々にしげり行くらむ 桂木 靜子
■忍び足わすれな草の花一つおん窓にそと投げて別れし 紳澤 幸子
■筑波野や霧わき薫ゆる樹がくれに鶯を聞く八月の家
■あやめ咲く皐月おは野に雨ふるや高き窓より君は袖ふる 紳谷つくば
江戸むらさき古代むらさき淡き濃き孰れを取らむ孰れもとらむ

**青葉の窓** 横濱 鈴木 松子

故郷の妹からの手紙に、姉樣は、このごろは御達者ですか、どうぞ御身を御大切にあそばして、骨肉の情は又別でございます、私はこれを見てほんとうに嬉しく思ひました、私がこの家へ嫁きましてから、もう二年になりますか、旦那樣は大てい御留守がち、又姑樣もよくして下さいまして、誠にありがたいのですが、こんな夕暮に妹を思ひます……。

**小川** 京都 小 草

我家の門に一條の小川ありて清きこと玉の如くなり我は日每こゝに降り立ちて掬ふを快とす美しき花を寫すに美容を以てし、みにくき姿を撮すに醜姿を以てす恰も鏡のごとく、朝に夕べにせゝらぎの樂奏にて我を迎へ、わが邪氣を去る此小川や我慰藉者の一なり。

先頃はいと麗しき御扇子賞品として給り厚く御禮申上候、御まつり月は早終り候誠に京に祭多きは五月十月に候、次はいつにや、七月の祇園祭これも眼前にせまりてまゐり候、七月のはじめより宵每に若き雅男たち、笛、かね、太鼓、羯鼓など、むきむきに習ひはじめ候へば、更けて風涼しき床の上に、遠きもの、音を、夢心地にきくもやがてに候(露緒子)▲拜啓此度は拙き文の御選に入り候て、結構なる御書籍賞品として御送り賜り、ありがたく拜受仕候(杉中淳子、芳賀りゆ子、板倉かずえ)▲此欄の寄稿を歡迎す(記者より)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 醫家處方調劑

藥品の純良
調劑の正確

醫師ノ處方ニ係ル調劑ハ必ズ調劑部主任之ヲ擔任シ親切丁寧綿密ニ且ツ迅速ニ調劑ス藥局トシテノ設備亦大ニ完全シ既ニ久シク大醫諸先生ノ信認ヲ辱ス藥品ハ試驗部ニ於テ嚴格ナル檢査ヲ施シ全ク純良品タルヲ確認シタル上之ヲ使用ス

神田區今川小路三丁目角
**尾澤純良堂**
藥劑師　大西橘三　藥局
藥劑師　田中義廣
藥劑師　長谷川賛
電話本局一五一八番

---

THE GEM

# ゼム

衛生家必携　懐中良藥

愛國

## 理想の婦人

深き母、常に快活なる氣を以て子を育する母の爲身を愛し、家の事を執るに明敏なる婦人

家庭にあり又交際場裡にありて常に清涼快活ならんには「ゼム」を服用せらるべし

◎主効

◎頭痛◎眩暈◎氣鬱◎舟車酔◎時候傷◎水傷◎食傷◎消化不良◎口熱◎口中惡臭◎其他常用すれば氣分を爽快にし音聲を美にし諸種惡疫を豫防す。

定價七十五粒入十錢百六十粒入廿錢四百卌粒五十錢九百粒入壹圓容器入廿錢

東京馬喰町二丁目　愛國堂　山崎榮三郎
大阪高麗橋二丁目　山崎兄弟商會

---

（注意）近來類似品を販賣する者あれば御買求の節は右瓶の形狀及び二頭の麝香獸に御注意を乞ふ市內賣藥小間物化粧品店に於て販賣致し居り候

麝香獸印

# ムスク香水

芳香の永く保つ點にて高評也

大瓶　壹圓
中瓶　六十五錢
小瓶　二十五錢

東京日本橋本石町四
松澤常吉

---

# 日本醬油

マツニホン　　フジニホン

釀造元
**日本醬油釀造株式會社**
東京出張所　京橋區本八丁堀櫻橋際（電話長三一〇四 新欅四六六八 二參參五）
大阪販賣所　大阪市南區新町橋東詰（電話東一三四五）

---

妾事海毛にて種々藥を試しも効なく醫博士令夫人所迄三百へより寄藥を得海毛も濃くなり生へざる毛生し嬉さの餘り困る方に分與せしに餘の禮狀を受け不思議のまゝ尚困難苦ぐ三錢郵券添御照會あれ

東京々橋越前堀一ノ四　河村愛子

---

色白く艶をだす（大形 廿錢　小形 十錢　新小角形 十錢）

# 松澤ホーサン石鹼

●近來類似品あれば御買求の節は上部の商標に御注意を乞ふ○市內賣藥小間物化粧品店にあり

東京本石町四
松澤常吉

---

新發明

# 宮崎葡萄液

宮內省御用達

發賣元
東京日本橋通旅籠町
**甲斐產商店**
電話浪花八七〇番　振替一九三七番

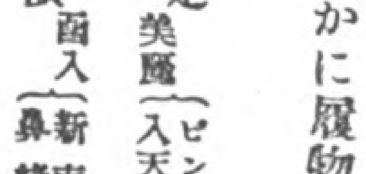
---

# 新流行履物

## 國粹彌生形

●國粹彌生形は「キルク」入なれば、極めて輕く御履き心地よく、且つ容易に減る事なく、然も價格の廉なる、實用に適し體裁の美麗かに履物界の白眉なり

御進物用として最も適當
地方御注文は代金引換にて郵送



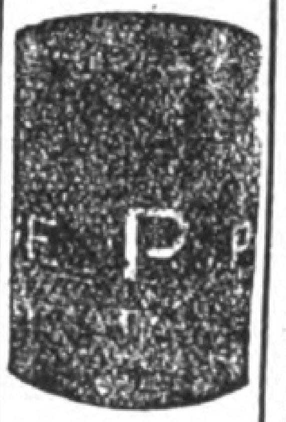
定價
美麗（ピンリウ表空氣入 天鵞絨鼻緒付）壹足ニ付金壹圓廿錢より金壹圓八拾錢迄
函入（新南部表付 鼻緒同斷）壹足ニ付金九拾錢より金壹圓五拾錢迄

神田表神保町貳（駿河台下停留所前）電話本局三千五百〇九番

**下總屋商店**

---

舶來



# 蚤取粉

米國ボラー會社製

特色　△價低廉△効力和製に比し十倍以上△逃はさず即殺する

一箱送料共二十八錢

東京四谷左門町七番
農家之母社

---

院長　醫學博士　榊順次郎
副　醫學士　久保徳太郎
副　醫學士　田代謹二

婦人科產科　每日午前診察
婦人科的外科　外國留學中
婦人生殖器病　泌尿器病及內科

# 婦人科產科　榊病院

●施診火木土午後一時至二時　科一般火木土午後診察

麴町三番町三三（電話番町三九五）

---

ちゞれもくせも
大新流
もはへうけあひ

# 女髮結師

妾の手がけた方で此病にて諸種の買藥して癒えぬ人悉く治りし故夫れで皆樣の勸めにより世間に廣く御披露せし處一人として御喜び遊さぬ方なし御問合せ往復葉書

東京麴町區飯田町四の六
安部歌子



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町 博報堂
京橋宗十郎町 正路喜社
日本橋蛎殻町 春風舎
京橋南紺屋町 一星社
神田須田町 金蘭社
本郷區湯島 弘進社
京橋區 廣告社

腦神經精神病科
病室清新 診療確實
東京龜戸町 電話浪花二五五二
加命堂腦病院

大森澤瀉屋製
寒製 やき海苔
●燒海苔は寒製の一品にして常に新海苔同樣の美味あり
●燒海苔は永く貯藏に堪へ風味佳良なり
●燒海苔は御贈答又は御進物には最好此の上なし
●大鑵五十錢 ●中鑵三十錢
發賣元 東京市四谷區麹町十二丁目 伊勢治茶店 電話番町六百六十番 振替口座東京六三八五番

商品切手調進仕候
甲斐絹屋
本店 神田區小川町 電話本局四八九 振替貯金口座一五〇〇〇

日本興業銀行
東京市麹町區錢瓶町(常磐橋内)
支店 京橋區銀座 電話新橋 八三三
電話本局 一、二八〇番 三、三〇〇番 四一番 (特)三七番 一〇二番
資本金壹千七百五拾萬圓
營業科目
一 擔保附社債に關する信託業務
一 有價證券其他貴重品等の保護預
一 有價證券の賣買元利金の支拂及び取立
一 地方債、社債、株式等の發行募集事務
一 各種の信託事務
一 國債證券、地方債證券、社債券、株券の擔保貸付及手形の割引
一 國債證券、地方債證券、社債券の募集又は引受
一 法津規定に依り設定したる財團を抵當とする貸付
一 定期預金、特別當座預金

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側 御影堂 持阿彌

產科婦人科專門
診察毎日午前 入院隨時
淺草區左衞門河岸 電話下谷一〇二八
岩田病院

○院長 ドクトル 木村順吉
京橋卅間堀一丁目角(電話新橋二六七〇番)
婦人科產科木村病院

岩佐病院 日本橋區蛎殻町二丁目廿三番地 (電話浪花六九七番)
診察時間 自午前九時至正十二時
内科婦人科 院主 岩佐純
内科 院長 ドクトル 岩佐新
外科 醫學士 山村正雄
產科婦人科 醫學士 西村漸
腦病脊髓病 醫學博士 土田卯三郎

東洋内科醫院
院長診察月水金木前松田醫學士診察火土前驅者施診火木前入院診斷隨時應需松田林兩副長は目下當院に在勤
電本八八八(病院用) 八九八(私宅用)
東京神田區駿河臺鈴木町二(御茶水橋畔)
院長 醫學士 高田畊安
神奈川縣高座郡茅ヶ崎村濱(停車場所在)
南湖院

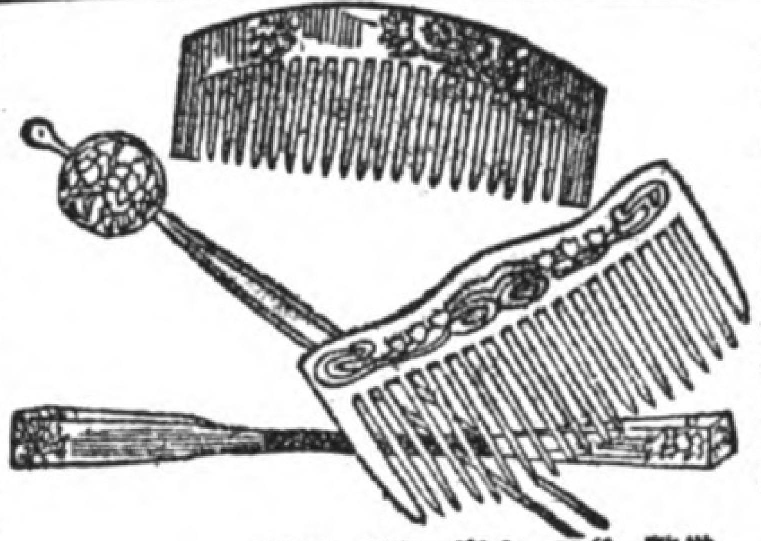
小兒科專門
腺病質、胎毒、貧血 小兒喘息、百日咳 小兒皮膚病
ドクトル メヂチーネ 長井岩雄
日本橋數寄屋町一(吳服橋外)電本百八十

元祖ねびへしらず(小兒用)
登錄商標

僞物あり御買ひ求めの節目印登錄商標に御注意願上候
直段
表中形裏ネル 一才用二十錢 二才用廿三錢 三四才用廿六錢 五六才用廿九錢 七八才用卅三錢
表メリンス裏同上 一才用三十七錢 二才用四十一錢 三四才用四十六錢 五六才用五十三錢 より四十二錢迄各種
地方は代金引替小包送料五個迄十七錢五個以上は送費當店持海外は實費頂戴可仕候
東京日本橋區ふきや町(電浪二三四八)
製造卸小賣 佃屋商店

内科專門
神田區駿河臺露本一六六九
院長醫學博士 佐々木政吉
杏雲堂醫院

▲匠嶄新破格廉價札正付



儀式用 鼈甲 櫛 笄
象牙 銀鉄 櫛 中差
金銀 寶石入 簪 指輪
帶止 ピン
珊瑚珠 翡翠 玉 根掛
化粧品

格安土州珊瑚直取引市價よりは三割方廉價
并に三拾錢均一物は御進物用として益好評
御便利爲御持古るしの小間物引取交換仕候
東京市神田須田町(電話本局二〇七六番 振替口座二八一番)
小間物商 三井屋德次郎
支店 京橋區新橋際 博品館内支店
神田裏神保町 東明館内支店

東洋一の商品陳列即賣館
第一 第二 帝國博品館
第一館 新橋角 電話新橋一六五二番 二二六一番……あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列販賣す
第二館 上野廣小路 電話下谷五三六番三〇四四番……館内あらゆる物品を最も格安の正札附にて陳列即賣するの外左記特殊の設備あり
喫茶店。和洋料理。ミルクホール。汁粉。壽司。菓子果物店。美術室。盆栽盆景。理髮店。休憩所。階上便所。洗面場。夜でも撮る寫眞場。
第一第二館内 各店 共通商品切手發賣……御買上品は市内無賃で配達致します

内務省衞生局 野田防疫課長序
醫學士石原喜久太郎氏著
家庭必讀
傳染病豫防法講話

傳染病
虎列剌▲赤痢▲腸窒扶私▲痘瘡▲發疹窒扶私▲猩紅熱▲實布垤里亞「ペスト」▲百日咳▲流行性腦脊髓膜炎
等の豫防法を著者が極めて平易簡明に最新の知識を口話體に記述せられたるもの讀者一たび全編を通讀せば豫防大綱に通曉し傳染病發生の實地に遭遇して恰好の指鍼たるべく得る本書の價値の存する所也
發兌元 東京日本橋通四丁目 振替東京一六一七番 春陽堂

明治四十二年六月廿日發行(毎月五日廿日二回)
(定價金三錢五厘一ヶ月七錢郵稅不要)發行兼印刷人 山澤俊夫
廣告料一行金六拾錢 編輯人 永持德一
發行所 東京麹町區飯田町 愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區榎町日清印刷株式會社



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 附錄 愛國婦人會記事

□參事會　本月二日午後二時より本部樓上に開催し、敎養所給與規則其他の諸件を議し、午後四時半閉會、當日左の諸氏出席せり。

闕郁子、高木富子、濱尾作子、山脇房子、高木鐐子、三輪田眞佐子、有島幸子、東郷鐵子の諸員並仁杉歌子氏等。

□臨時擴張部　本月九日午後二時より臨時擴張部委員會を開催し、東郷、濱尾、山脇、闕、棚橋、三輪田、大久保各委員出席、地方の情況を調査し、將來の方針に關する事項を協議決定し同五時散會せり。

## 岩手支部

□遺族及廢兵慰藉　當支部は豫てより軍人遺家族並廢兵に對する慰藉の方法に付考慮中なりしが、日本チャリネ技術奬勵會の當盛岡市に開演せるもの勇壯活潑にして毫も卑猥に渉らず、適當の慰安方法と信じ同會に交渉したるに會長山本政七は大に同情を表し、無料にて觀覽せしめんことを承諾せり、依て去月十七日午後六時より盛岡市在住の戰死准戰死軍人の遺家族並廢兵に案內し、之が爲特に別席を設けて優待す、其夜參觀したるもの百五拾餘人當支部及盛岡市幹事部事務員數名斡旋に勉め、宮地主事一場の挨拶に加ふるに慰藉の辭を演説せり、來觀者は孰れも多大の興味を感じ、滿足の狀を表す、午後十時半、演技終り無事散會したるは以て慰藉の目的を達したるものと云ふべし。

## 愛媛支部

□評議員會報告　曩に本會第八回總會の爲參列を兼ね上京中なりし支部長は本月廿日歸松せられたるを以て去月廿四日午後一時を期し支部長宅(知事官邸)に於て評議員會を開く、會する者支部長を始め西久保副支部長各評議員並顧問(知事)三宅主事高木事務員等にして最初支部長は開會の辭と共に三十七八年戰局の功績に依り過般賞勳局より支部へ下賜せられたる金杯の披露をなし且つ第八回總會をなし且つ第八回總會に於る實況を報告し、亞て顧問よりの本部及支部の現在實力並に救護其他の狀況會務の擴張整理等に關し、懇篤にして有益なる談話あり、支部長は特に東都に於て調製せられたる紀念品を一同へ配與し、各職員は胸襟を開き互に會務の發展上に付き懇談數刻晩餐を共にし和氣藹々の中に閉會を告けたり于時午後六時なりき。

愛媛支部實力調

一、貳萬〇百七拾九人
　但支部現在會員數(四十二年五月廿四日調)
內譯特別會員　五百七十六人
　通常會員　壹萬九千六百〇貳人
　外に贊助員(七圓以上)　四十九人
一金貳千七百九拾六圓也
　但四十壹年度救護金
　右は定期及臨時に支出したる分
一金貳萬貳千百七拾五圓拾錢參厘
　但現在定期預ヶ金
內譯
金壹萬四千六百四拾六圓五拾錢
　基本金及救護金四十貳年度へ越高分
　內金五千五拾八圓拾錢　基本金
　金九千五百八十八圓四十錢救護金
金六千參百九拾七圓八十五錢壹厘
　四十二年一月ヨリ仝年五月廿二日迄ニ增加セシ定期預ヶ金分
金千百參拾圓七拾五錢貳厘
　四十二年一月七日元ニシテ救護補助金ノ殘餘定期預ヶ金分
備考當座預金及現金は前敍計上の外とす

四月十一日愛國婦人會敎養所開所式記念撮影
(愛國婦人第百七十五號附錄參照)

## 石川支部

□遺族接待　五月廿日例年の如く金澤兼六公園に於て戊辰の役以來の戰死者に對する招魂祭執行せられたるを以て當支部は參列遺族に對し茶菓の接待をなしたり當日は式場附近なる梅林園の一劃地に長さ拾五間幅三間の休憩所を建設し入口には緑門を設け、遺族休憩所と大書したる額を掲け國旗會旗を交叉し、場內は滿艦飾を施し、休憩所內も夫々裝飾をなしたり、中央には蓄音器を据ゑ置き、遺族の慰樂に勉めたり、當日は暴風雨に加へて雷鳴轟々と起りしにも拘らず、接待員は(支部職員)各自部署を定め、懇切に待遇したるを以て、遺族は孰れも感謝の意を表したり、當日接待せし遺族數は約貳千名に達せり。

## 京都支部

□南桑田郡幹事部　去月二日第三回總會を郡會議事堂に於て開催せり本支部よりは支部長代理として副長昌谷槌子氏評議員三輪富貴子氏幹事橋中富久子氏同織田あさ子氏同伴、事務員室谷時康氏隨行臨席せり、來會者は軍人遺族廢兵を始め、會員等約四百名に達し、午後一時に至るや、君か代の奏樂にて式を擧げ、正面には　總裁宮兩殿下の御眞影を掲げ、諸員一同着席するや、皆川幹事部長開會の旨を告げ、昌谷副長支部長の祝辭代讀、次に皆川顧問の事務報告及明治卅七八年戰役の際に於る功績に因り、下賜されし銀盃の披露且つ本會々長の祝電朗讀ありて後皆川顧問を始め、來賓並幹事部職員等の祝辭又は講話ありし中にも幹事部職員前田勝子氏が婦人と道德なる演題にて通俗的講話を爲したるは、大に感動を與へたり、右にて無事式を了り、少憩の後一同に折詰の饗應をなし、餘興としては桃川燕痴が得意の講演(義士銘々傳)あり、當日の天氣は殊に快晴なりしと、職員諸氏の斡旋よく行屆きたるとにより、各自十分の歡を盡して散會したるは午後四時、非常の盛會なりき。

## 敎養所日誌

三月廿三日(火曜日　曇後雨)　六時半起床八時副寮長引率の下に寮生は細雨を犯し出寮、先つ寮長邸に至り更に寮長に引率せられ青山に至りて　東宮御所を拜し次に本會總裁閑院宮妃殿下の御邸に詣る　殿下には若宮方を左右に伴はせ給ひつゝ、樓上より謁を賜ひ　御園にて御菓子を賜はる　次に本會々長岩倉公爵夫人　御邸に至る後園中に於て　夫人より懇篤なる訓示ありたる後又御菓子を贈與せらる正午歸寮、晝餐後床敷方練習をなす、鹿兒島縣募集幼兒誌見義憲森田榮の兩名支部員同伴到着身體檢査異狀なきを以て寮生とす、午後三時佐藤所長來臨寮生に　訓話あり　引續き寮長「氣を附け」「左右向」「後向」等を演習せしむ、午後八時半就寢

三月廿四日(水曜　午前雨午後晴)六時半起床、雨天に就副寮長の歷史談ありし後　寮長の床揚け、床敷き、集合及體操初歩の演習をなさしめ　終て　閑院宮妃殿下より下賜の御菓子を頂かしむ、寮生閲覽用として「少年世界」「大冒險」等を備付く、本日高等科は上六番町學校に尋常科は日比谷小學に入學することに決す、寮長酒井由松を訓誡す、給與品各一人分葉書二枚、鉛筆一本午後八時半就寢

三月廿五日(木曜　晴)　六時半起床、九時寮生は引率せられて青山練兵場に至り練兵を傍觀したる後　青山墓地に至り諸名士の墓に詣て　赤十字病院を　一見して午後零時半歸寮副寮長事務員同行す、午後殿床及ひ集散練習の後入浴せしむ、晩餐後寮長のお伽噺副寮長の赤穗義士談あり、　午後八時半就寢

三月廿六日(金曜　晴夜雪)　六時半起床、九時寮生は引率せられて高輪泉岳寺に至り義士の墓に詣づ十一時半歸寮副寮長事務員同行、午後一時曹洞宗兩本山慰問僧赤澤亮義師を迎へ寮生は其寄贈に係る蓄音器、少年劍舞居合、柔術形、お伽噺、論噺、手品等に依て慰藉せらる此日所長夫妻、靑松寺方大持大仙等來臨又大澤醫師、永持愛國婦人編輯主任、日高丙子郎、曾田文甫等諸氏來觀、午後八時半就寢、靑松寺及永持愛國婦人編輯主任より少年讀本の寄贈を受く。

三月廿七日(土曜　晴)　六時半起床、九時寮生に引率せられ日比谷小學校に至り　校長に面會し　其許可を得し十二時歸寮副寮長事務員同行す、本日寮長寮生を五組に編成毎組に臨時　假組長を附し　幼兒と　組長間の服從方を訓へ更に床揚け床敷　其他の件を　演習せしむ臨時假組長を命ぜられし者は(第一組)渡部一美(第二組)川端喜三郎(第三組)松本廣三(第四組)富永順太郎(第五組)永井一郎、夜に入り副寮長のお伽噺あり八時半就寢

東京　平尾分店　スミレ香水

毛髪用　東京　平尾分店



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏リボンの覇王

高尚優美現代の最流行

アサヒリボン

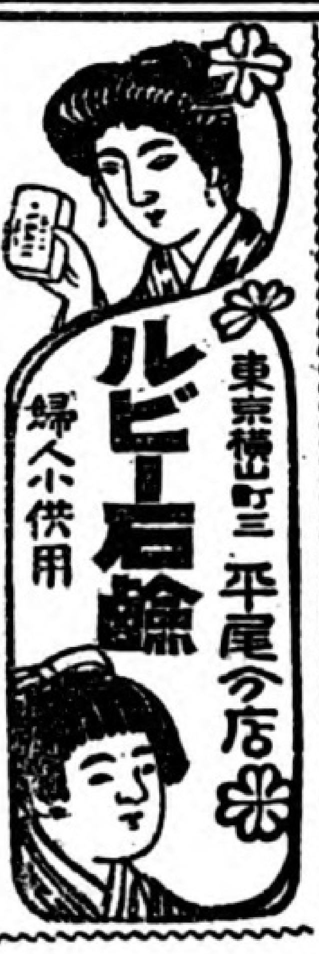
品質 シフォン織を二重となし內部へ金銀の箔にて模様を顯わしたるものゆへ自然の杢目となり燦然たる光輝を放ち至つて涼しく見へ殊に二重なるが故に數十回の使用に堪へ經濟と美術とを遺憾なく發揮せる最嶄新なる夏リボン也

說明

●市內送料不要地方ハ貳碼以上送費要せず

發賣元 東京神田猿樂町十八番地 中村商店

價格
無地に金銀砂子模様三時巾一碼ニ付貳拾五錢
四時巾一碼ニ付參拾錢
縞地に金銀砂子模様
無地に箔ちらし模様
三時巾一碼ニ付卅二錢
四時巾一碼ニ付卅八錢
郵券代用一割増
模様ハ胡蝶、渦巻
地色 白、赤、薄時、
種類（洗朱、水色、納戸、




熊本屋の白米大賣出し

▼熊本屋の肥後米は無二の美味を有し御釜の中にては頗る殖へる故、誠に德用にして無害の良品なり。熊本屋は專ら肥後米を取引致居候へば品質の良好なること他に比なく價格もまた極めて廉なるを以て東都人士の常食として最も經濟なり

●（時勢上經濟を重んせらるゝ御家庭樣は一度なりとも御試みの上ぞく／＼御用命下されたく希ひ上奉り候）

●（端書にて御注文の節は早速配達仕るべく其際は郵税御返納いたすべく候敬具）

肥後米專賣 白米商熊本屋 上田德藏 牛込區新小川町二ノ十三

衣服洗淨及髪洗ひ

あらひ粉

內科一般 板垣亭
東京神田美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診
電話本局貳千九百七十番

六月一日より

新柄浴衣地大賣出し

并によせぎれ見切反物日々差加へ陳列致居申候

最も御意に叶ひ多大の御好評を博せし歌舞伎模様應用の薄地物、浴衣地、其他新製夏物流行品澤山陳列致置候間御來遊の程奉願候

一 仕立洋服 は地質柄合を精撰致し最新式雛形により調製せしものに有之候

一 和洋雜貨 は當年流行の洋傘、帽子、靴其他小間物化粧品一切取揃へ置申候

東京日本橋 白木屋呉服店

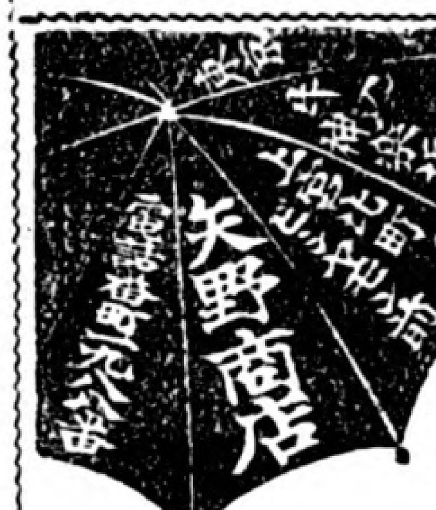
にきび チプリ

をとる有効化粧液

到る所に販賣し升

廿グラム入 二十五錢

東京本石町 松澤常吉




●嶄新流行品各種 製品確實薄利販賣

東京牛込區神樂坂通り上宮比町（ビシャモン前）本店 矢野洋傘店
電話番町一九八八番
同所靜岡館勸業場內支店 矢野洋傘店
同所支店 矢野帽子店
本郷四丁目本郷館勸業場內 矢野洋傘店

美術之日本

▲第一卷第二號六月五日發行定價金拾五錢
▲郵税金壹錢▲見本郵券貳拾錢を要す▲
▲掲載要目……小說正宗白鳥其他新々作
▲家執筆……▲美術工藝に關する卓說滿載
●發行所……東京京橋區新肴町十三番地

審美書院 電話新三〇五五番

◎子宮病に內服藥は効を奏し難し

進歩！理想

子宮內膜炎、白帶赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮たゞれいたみ、月經のいたみ、頭痛眩暈、不妊症、産前産後の諸症等にて種々の服藥も其効なく御困りの方は早く御試みなさい一度用ゐた方は皆不思議の効驗に驚いて禮を述べられ引續き用ゐて根治を樂しんで居られます

藥價 五個入 卅錢 十個入 五十五錢 廿個入 壹圓 五十個入 貳圓卅錢

本舗 東京下谷坂町一 口座一八二三四 藥劑師 三原金太郎

醸造元 千葉縣野田町 茂木七郎右衛門

商標（キハク印）

最上醬油

キハク印

於姫路局博覽會 名譽大賞牌受領

キハク印

醬油は味がよくて調理にかなつて居ると云ふことは皆さん一般の評判ですどーか其あぢのよくてそして經濟であると云ふことを御ためし願ます

東京支店 日本橋區小網町三丁目 中野長兵衛 電話浪花五七七四



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN